助成者	嶋田　奈穂子	活動期間	2014年4月～2016年3月
所属機関	NPO法人平和環境もやいネット	職　名	副事務局長

コーヒー生産地と消費地をつなぐ、そして学びあう

～東ティモール高地の環境保全に向けて～

【活動場所】　東ティモール（ディリ、レティフォホ）と日本（東京、大阪、月ヶ瀬、伊丹、東大阪、徳島、奈良など）
【事業目的】　本事業の目的は、東ティモールの伝統的なコーヒー栽培を持続可能なものにすることで、東ティモール高地の環境保全をより確実にすることである。そのためには、コーヒー農家自身が伝統的な栽培方法と環境保全の意義と価値を客観的に見直して認識する必要があり、海外（日本）との交流がそのヒントになるのではと考えた。生産者と消費地の具体的な「つながり」を深め、そこでの「学びあい」を通じて、コーヒー農家の自覚と誇りを生み出し、生産者と消費者とのWin-Win関係を築くことで、東ティモール高地の環境保全の一助となることを願うものである。

日本のデパートでのコーヒー販売を見学

田代珈琲さんによるコーヒーの勉強会

【活動内容】
東ティモールのコーヒー栽培関係者（3名）を招聘し日本でスタディーツアーを2回実施
＜1回目＞2014年6/27-7/4　13ヶ所を訪問し下記テーマの研修と意見交換実施
①コーヒーの加工・流通・販売について　②有機農法・農産物の地域循環について
③フェアトレードや有機農法栽培産物の価値について
＜2回目＞2015年6/14-6/18　12ヶ所を訪問し下記テーマの研修と意見交換実施
①有機農法・農産物の地域循環システムについて
②有機農法栽培産物の価値について　③農業関係者による組合の運営と活動について
【活動成果】
充実したプログラムの内容で、招聘者は大きな刺激と学びを得た。帰国後、現地での報告会が開催されるとともに、既に以下の新しい動きが始まっており、大きな成果に繋がった。
①野菜の有機栽培を開始　②農家による堆肥生産と勉強会の開始
③コーヒー加工過程の改善（付加価値上昇）：選別の徹底や乾燥方法の改善など
④コーヒー販売の開始（国内流通用として、自ら焙煎、パッケージ、販売全てを行う）